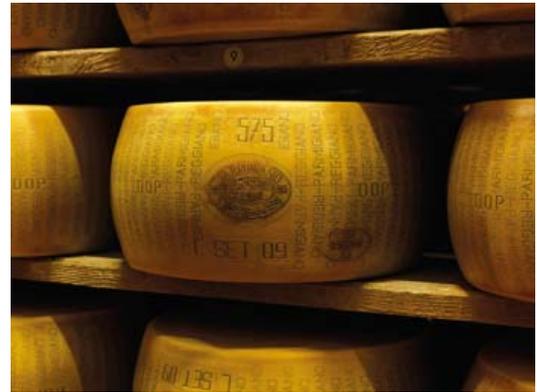


2019年7月19日

## パルミジャーノ・レッジャーノ、過去最高の収益で輸出も拡大

PDO 製品の中で No.1 の売上、対日輸出量も前年比+11.5%増

パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会 (CFPR: イタリア、レッジョ・エミリア市) は、2018 年のマーケットデータを発表しました。生産量は前年比 1.35% 増の 370 万玉 (約 148 万トン) で、このチーズの長い歴史の中で過去最高でした。パルミジャーノ・レッジャーノは、「世界で最も影響力のある PDO 製品」に選ばれただけでなく (出典: 2018 年 IPSOS 株式会社)、生産出荷高が 14 億ユーロと、PDO 製品の中で NO.1 でした。 (出典: 農業食品市場サービス振興会 (ISMEA)) また、消費金額は 24 億ユーロで、この PDO (原産地呼称保護) 製品は、ますます海外に進出しています。生産量は過去 2 年間で 347 万玉から 370 万玉と 6.6% 増加しており、新たな市場を開拓する必要があるからです。



価格に関しても、非常に良い時期を迎えています。2016 年の生産出荷平均価格 (12 ヶ月熟成のもの) は 1kg 当たり 8.60 ユーロでしたが、2018 年の平均価格は 16.3% 増の 10 ユーロでした。 (出典: Borsa Comprenditoriale) また、輸出の比率も拡大し、前年比 5.5% 増の 40% でした。フランスが最大の市場 (11,333 トン) であり、次にアメリカ (10,493 トン)、ドイツ (9,471 トン)、イギリス (6,940 トン) そしてカナダ (3,030 トン) が続き、日本へは前年比 +11.5% 増の 919 トンでした。フランスとイギリスはそれぞれ + 12.6%、+ 2.2% 増で、ドイツは類似製品との競合により減速しています (-4.4%)。一方、EU・カナダ包括的経済貿易協定 (CETA) のお蔭でカナダへの輸出は + 17.7% 増加で、今後の通商機会の発展を裏付ける形となりました。

2019 年は 375 万玉以上と、さらなる生産量の増加が見込まれていることから、この製品を市場において利益のある価格で位置づけることが協会の課題となっています。イタリア国内外の需要を増やすために、協会は PR 予算を前年より 150 万ユーロ増やして合計 2,400 万ユーロを投資しています。

パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会のニコラ・ベルティネッリ会長は次のように述べました。「パルミジャーノ・レッジャーノは成長し続け、市場を拡大しています。2018 年も生産 (+1.35%)、価格 (+ 2%)、輸出量 (+ 5.5%) とともに増えたプラスの年となりました。また海外市場はますます重要になっています。2018 年の輸出割合は 40% という過去最高のシェアを超えました。これは 5 年前の 34% という数字を考えると驚くべき結果です。協会は、本物のパルミジャーノ・レッジャーノとまがい物のパルメザンの違いについて消費者を教育するキャンペーンを、特に新しい市場に焦点を当てながら、かなりの予算を投資してイタリア国内外でこの PDO (原産地呼称保護) チーズをプロモートしています。」

パルミジャーノ・レッジャーノ・インフォメーション・センター

(株) 旭エージェンシー 内 Tel: 03-5574-7890 Fax: 03-5574-7887 E-mail: info@parmigianoreggiano.jp

<https://www.facebook.com/parmigianoreggianoJP>

Qualivita 財団のゼネラルディレクターであるマウロ・ロザーティ氏も下記のようにコメントしています。「2018 年の肯定的なマーケットデータは、近年、パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会が実施してきたマーケティング戦略の結果でもあります。彼らは、拡大する世界市場において、素晴らしい製品を生産するだけでなく、特にブランド力のある製品名が真の付加価値を発揮する新しいデジタルチャネルにおいて、効果的に消費者とコミュニケーションを取ることが必要であることを示しています。

パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会は、調理済み食品または加工品に対する新しい方針も示しました。パルミジャーノ・レッジャーノを原料としての使用申請する食品会社の数は急増しています。それは、パルミジャーノ・レッジャーノ PDO の名を加工品のラベルに使用すると、製品に付加価値が加わるからです。そこで協会は加工品に関しての方針を更新しました。加工品の製法の特徴や工程の厳しい管理について詳細な基準を設けた上で、新しいパルミジャーノ・レッジャーノの商標を加工品の包装に使用できるようになりました。これは、トレード、フードサービス、食品業界、パルミジャーノ・レッジャーノを生産するサプライチェーンにとって、そして新しい市場へのアクセスを可能にする重要な新しい突破口になるでしょう。

## 数字で見るパルミジャーノ・レッジャーノ (2018 年)

【生産量】 約 147,692 トン(3,699,695 ホール ) \*前年比 1.35%増

【輸出量】 54,360 トン\*前年比 5.5%増

【輸出比率】 40.1%

【対日輸出量】 919 トン\*前年比 11.5%増(2017 年:824 トン)

【生産地域】 下記の 5 県にまたがる限定地域で飼料、牛乳、チーズの生産及び熟成、包装までを行う  
パルマ県、レッジョ・エミリア県、モデナ県、ボローニャ県(レノ川左岸)、マントバ県(ポー川右岸)

【使用添加物】 ゼロ

【サイレージ】 ゼロ(発酵飼料は禁止されています。)

【チーズに使う牛乳の量】 1 玉 520 リットル / 1kg あたり 13.5 リットル

【サイズ】 重量 平均 39.9kg(最低 30kg 以上)

【生産者の数】

乳牛飼育場: 2,820 箇所 (2017 年は 2,893 箇所)

乳牛: 265,000 頭

チーズ製造所: 330 軒 (2017 年は 335 軒)

【専用の牛乳生産量】 192 万トン(イタリア全土の牛乳生産量の 15.9%)

【チーズ売上高】 14 億ユーロ(生産出荷レベル推定) / 24 億ユーロ(消費レベル)

【サプライチェーン内で従事する人の数】 50,000 人

パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会は、1934 年に設立されたこのチーズの全生産者が所属している非営利団体です。チーズの品質審査および本物の証としての押印を行い、世界中に広く出回る模倣品から本物を守り、正しい知識や認知度、そして消費量を向上させるための活動も行っています。

<https://www.parmigianoreggiano.com/japanese/default.aspx>

パルミジャーノ・レッジャーノ・インフォメーション・センター

(株)旭エージェンシー 内 Tel: 03-5574-7890 Fax: 03-5574-7887 E-mail: info@parmigianoreggiano.jp

<https://www.facebook.com/parmigianoreggianoJP>